

地域に根ざした魅力ある溪流づくり

目的

近年、全国各地で土砂災害が頻発している中で、土砂災害を防止するためのハード・ソフト両輪での対策の重要性が高まっています。

ハード対策の実施に当たっては、従来からの防災という観点のみならず、その場固有の溪流特性・環境特性・地域特性などを十分に踏まえた施設計画が重要であり、地域に根ざした魅力ある溪流づくりを行います。

内容

地域に根ざした魅力ある溪流づくりを行うため、以下の支援を行います。

- ・ 住民参加による地域ニーズや個性ある溪流づくりの立案
- ・ 実施する溪流固有の自然環境に配慮した溪流づくりの計画・設計
- ・ 身近な自然とふれあえる溪流づくりの計画・設計
- ・ 利用を促進するための事業PR広報の作成

技術ポイント

(1) 住民参加型での計画づくり

地域に根ざした魅力ある溪流づくりを行う上で、計画段階から地域住民の意見を反映することが必要不可欠です。これは、整備後の利用面や維持管理面においても非常に重要な役割を担うものです。

このような住民意見を反映する方法として、アンケート調査やワークショップの運営などを行います。また、住民への説明資料として、専門用語は極力使わず、模型の作製やCGの活用など視覚的にイメージがわくようなわかりやすい資料づくりを行います。



ワークショップ形式による計画づくり



完成CGの作成

(2) 自然環境にやさしい溪流づくり

実施する溪流固有の自然環境を踏まえ、そこに生育・生息する動・植物にもやさしい溪流づくりとして、自然にやさしい溪流保全工や魚道などの計画・設計を行います。



魚にやさしい溪流づくり(魚道)



自然にやさしい溪流保全工

(3) 人と自然とのふれあい空間の創出

溪流は地域住民にとって身近な自然とふれあえる貴重な空間であり、近年自然学習の場としての利用も増えてきています。そのため、場の特性やニーズ等を踏まえた自然とのふれあいや学習ができる溪流の創出を図ります。



遊砂地を利用したせせらぎ



砂防えん堤の再整備

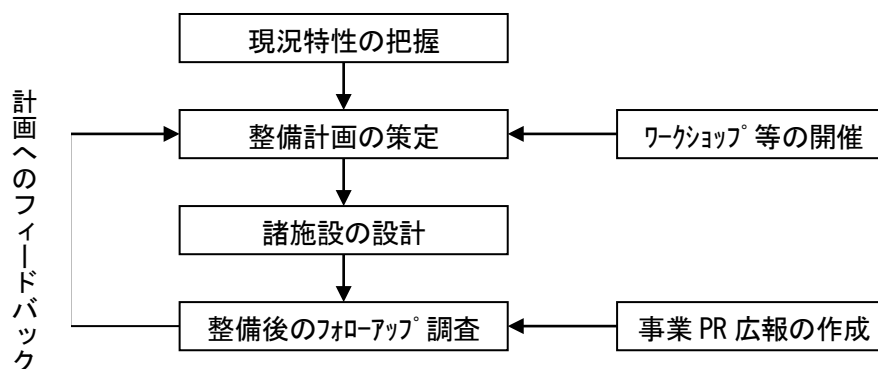
(4) 事業PR広報の作成

整備後、地域住民など広くPRし、利用を促進することも重要なことです。そのため、広報誌、パンフレット、HPなどの広報を作成します。



事業PRパンフレットの作成

事業の流れ〔当社の実施範囲〕



当社実績

- ・ H8～11 「足込川環境整備事業」(愛知県新城設楽建設事務所)
- ・ H10～11 「大津谷環境整備事業」(岐阜県揖斐建設事務所)
- ・ H10～11 「嫌谷環境整備事業」(岐阜県恵那建設事務所)

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先： 事業企画部 (TEL. 052-979-3960 / FAX. 052-979-3970)